

令和5年度 長東西学区敬老会

とき 令和5年9月16日(土) 9時30分～12時
 ところ 広島市立長東西小学校体育館
 対象者 満80歳以上(長東西学区内在住者)
 内容 ・第一部 式典
 ・第二部 アトラクション

- ①演技 長東西小学校三年生による長東盆踊り(長東音頭)
- ②演奏 長東中学校吹奏楽部の演奏



発行
 長東西学区
 社会福祉協議会



**4年ぶりの
開催となります。**
 永年にわたり家族、地域のために
 尽くされたご高齢の方々に感謝と敬
 意を表すと共に、一層のご健勝・ご
 活躍を祈念して、地域全体でお祝い
 する会です。皆様、お誘い合わせの
 上、ご来場ください。

健康教室

高齢者いきいき
 ポイント手帳を
 ご持参ください
 (1P付与)



第一回健康教室は6月22日(木)長東
 集会所に20名の参加で、講師にマイ
 ライフ株式会社管理栄養士 澁谷未春
 氏、オール薬局薬剤師 富永達哉氏
 が「知っておきたい高齢者の職と栄
 養」筋肉と内臓を元気に、「熱中
 症のメカニズム」対処と予防方法

」の講演がありました。講演前に
 骨ウエーブ・体組成・SGES(体
 内糖化度)の測定をし、食生活につ
 いて学びました。

第二回健康教室は7月27日(木)長東
 集会所に20名の参加で、講師にデイ
 サービス梅の里管理者 北野真菜氏の
 講演で「シナプソロジー」という「2
 つのことを同時に行う」「左右違う
 動きをする」という普段慣れない行
 動をすることで認知機能を向上させ
 るトレーニングを実施。上手に出来
 なくても脳は活性化されること。両
 日楽しく学びました。

長東音頭」推進強調月 間でのご協力に感謝

児童への登下校時、長東西小学校で
 の大休憩時での「長東音頭」の放送、
 7月1日と7月15日の「長東音頭」地
 域練習そして7月19日は、長東西小
 学校三年生への踊りの学習指導と強
 調月間に相応しい長東西での動きで
 した。より一層の「長東音頭」への
 愛着を芽生えてきたのではないで
 しょうか。残るは、夏休み明けの9
 月6日の学習指導です。9月16日の
 敬老会に向けて地域、学校共に楽し
 く学習しましょう。

「家庭で育み、地域・学校で育てる」



長東西小学校
校長 川 裕 司

今年四月、長東西小学校に赴任して参りました。よろしくお願いたします。

四月の始業式で子供たちに一年間の「めあて」を決めて過ごすことをお願いたしました。そして、その「めあて」を一日でも長く心にとめて頑

張り続けることが大事であるということをお話しました。

私も赴任一年目、長東西小の校長として心に決めた「めあて」があります。それは、「コミュニティスクール」の推進です。

「コミュニティスクール」は昨年度より、全市で運用が開始された、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となつて特色ある学校づくりを進めていくことのできる取り組みです。学校と地域が連携・協働することで「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とし

た地域づくり」の実現をめざします。

当然、取り組みの中心には「子供」がいます。大きな時代の変化を背景に子供たちを取り巻く課題は様々です。いじめ・不登校、暴力行為などの問題行動や防犯・防災・交通事故防止など家庭・学校だけでは対応できなくなっているのが実態です。そうした中で地域の「ヒト・モノ・コト」を最大限に活用し、学校と地域が相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となつて子どもの教育、成長を支えていくのです。

今年度も第一回の学校運営協議会

が行われ令和5年度のコミュニティスクールをスタートさせていただきます。また、「真」のコミュニティスクールを目指して、長東西学区社会福祉協議会様をはじめ、地域の諸団体の皆様と取り組みを活性化すべく、取り組んでまいります。

子供たちの居場所としての「家庭」で心を育み、学び、成長の場としての「地域・学校」で「生きる力」育てる長東西小学校をめざします。

今後とも皆様の温かい御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。



長東中学校
校長 金 勉

今年度、四月に長東中学校に赴任いたしました金川です。いつも地域の皆様には、大変お世話になりありがとうございます。よろしくお願いたします。

本校は、今年度、一一六名の新生を迎え、生徒数四一六名でスター

ごあいさつ

トしました。校訓「知・徳・体」のもと「志を持ち、自ら学び、ともに高め合う生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、教育活動を推進してまいります。

重点目標として一つ目は、生徒たちのわからなさや困り感に寄り添った授業、生徒の様子をしっかりと見取る授業、生徒たちの発言をつなげる授業に取り組み、わかる授業を創っていきます。二つ目は、生徒たちが安心して生活でき、互いに尊重し、活躍できる場を設定し自己肯定感を

高めていきます。

そのために、心がけてほしいこととして一つ目は、「果敢に挑戦すること」です。授業でも部活動でも行事でも、できるようにになりたい、上手になりたい、いい作品を創りたいなど誰もが前向きに取り組んでいきます。しかし、うまくいかないことや結果として現れないこともあります。あきらめたら終わりです。あきらめず挑戦し続け、目の前のことを丁寧に取り組んでいくことが大切です。二つ目は「良質なコミュニケーション」です。仲間とともに力を合

わけていくためには、コミュニケーションがとて大切になります。一人て考えるより仲間と一緒に意見交換する方がいいアイデアが出てきます。わからないことは、「ここどうするの」と訊けばいいのです。また、「困ったことない」と優しい声かけができる素敵です。優しく穏やかな会話ができると嫌な思いをすることもなくなり、安心した学校生活を送れます。

これからも、保護者や地域、学校が一体となり、生徒たちの健やかな成長を支えていきたいと思ひます。皆様方の温かいご支援やご協力をよろしくお願いたします。

青少協街頭パレード

長東西地区青少年健全育成連絡協議会

会長 北崎俊司



この度の長東西地区街頭パレードは4年ぶりの開催となりました。

7月17日(月)の海の日、ご多用の中、各町内会・自治会、民生委員児童委員、小・中学校の校長先生、教頭先生、小・中学校PTA、各単位子ども会、ボランティア参加の中学生、青少年指導員、青少協の委員の方々など、約50名の参加をいただき、今回の街頭パレードが開催できたことに感謝申し上げます。

街頭パレードは3つのコースに分



かれ、長東西地区全体をハンドマイクを使いながら「青少年健全育成」の標語を住民のみなさまに呼びかけながらの約1時間のパレードでした。坂の多いところは自動車隊からの呼びかけとしました。当日は朝からたいへん暑く、熱中症も心配されましたが、参加された方々の元気で熱意あるパレードとなり、事故もなくスタート地点の長東西小学校玄関前に帰ってきました。

各種団体の皆様には日頃から多くの活動を活発に盛り上げていただいております。「青少年の健全育成」にも大きく貢献されていることに感謝申し上げます。長東西地区は安全な街だと言われておりますが、このことは地域の皆様の意識の高さやこのようなパレードをはじめとする地域活動への協力、そこから生まれるつなが

りや絆にあると思います。

このように「長東西地区街頭パレード」を通じて長東西地区がますます安全で安心な街になり、ひいては「青少年によりよい環境を与える運動」としても位置づけられ、今後本地区の伝統的な行事の一つとしていつまでも継続したいものです。

今後とも青少協の活動に対し、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

夏のイベント

平原子供会

7月23日平原子供会と子供たちのために集まってくれる「おとこ会」のメンバーと夏のイベントを開催いたしました。

まずは子供たちが普段体験できない事を体験させたいと思い、コロナ禍で中止となっていた「ソーメン流し」をしたいと思います。ソーメン流しは一部で不衛生との指摘で、流さずに食べようと。食べるために竹で箸作りから、「おとこ会」に相談し快諾を頂きました。そしてイベントに向け沢山の準備をしてみました。

当日は子供たちが19人、親が12人、おとこ会13人が集まり、私物の鋸やナイフ等持参で子供たちの間に入り作業開始です。



皆さん軍手をしてナイフの使い方や作業方法の指導を受け箸作りに係りました。途中ではおとこ会の方に手助けを頂き、良い顔になっていました。

そして、一緒に作ったのは箸だけではなく、ソーメンを食べる器と水鉄砲まで作り、うまく飛ばか外に向けて飛ばしていました。

作ったマイ箸で流せないソーメンを戴きました。普段あまり食べない子供もこの日はよく食べていました。余程おいしかったと思います。

「おとこ会」がなかったら出来ないイベントです。平原はこうして人と繋がれる良い自治会です。

長東西夏まつりを終えた

長東西夏祭り実行委員会 委員長 水田 哲平



今年の長東西夏まつりは新型コロナウイルス感染症の5類移行後の開催ということで、従来に戻した形での開催で、昨年を上回るたくさんの方の来場者がありました。

また、飲食ありでの開催で、開会直後から各ブースに長蛇の列が出来、早い段階で売り切れのブースが目立ちました。

「長東音頭盆踊り」へ参加者には抽選券を配り、盆踊り終了後に抽選、商品プレゼントするという企画を長東長寿会主体で実施し、たくさんの方の参加がありました。2回目の「長東音頭盆踊り」では、広島文化学園大学の学生のみなさんに色々な楽曲で盆踊りをアレンジして盛り上げ



ていただき、みんな楽しんで盆踊りを踊っている姿には感動しました。NWKIDSの可愛く、そして切れのあるヒップホップダンスは昨年より成長していると感じ。長東ブラサンサンプルの演奏では、伊藤先生指揮のもとプログラムの準備までしていただき、みんなと一緒に演奏に参加した気分になりました。

最後のメインイベントである恒例の「おたのしみ大抽選会」では、鰐川校長先生に抽選券を68回も引いていただき、昨年以上の盛り上がりとなったように感じます。

前日の準備を含め長東西夏まつりにご尽力いただきましたみなさまに御礼申し上げます。

長東西

児童館だより

7月6日長東西児童館では「七夕のつどい」を行いました。

笹飾りをした遊戯室で七夕のパネルシアターや、子どもたちのハンドベル演奏で楽しみました。

今年も大きな竹を地域の方が用意してくださり、伝統的な行事を子どもたちに伝えることができ、有意義なひとときでした。

館長 野田 弥生



災害時要支援者支援事業について

長東西学区自主防災会連合会 櫻井 俊男

災害時要支援者とは、いわゆる災害弱者のことで、自宅におられる要介護3以上の方、各種障害者などに登録した方々です。2023年度当学区の要支援該当者は、谷5、大師が丘3、平原13、竜王8、第一祇園9、第二祇園7、フローレンス2、西川1、上市場1の合計49名で、下山、鳥越はありませんでした。当学区では、危険性が最も高い土砂災害と洪水について、そのレッドゾーン

(特別警戒区域)にお住まいの方(2

名)には小学校(場合によっては春日野園に紹介)に車で避難して頂き、イエローゾーンの方は自宅二階に垂直避難、ホワイトゾーンの方は自宅待機をお勧めしています。

また今年から市は、全要支援者に個別避難計画(わたしの避難シート)の提出を勧めています。当自主防災会は書き方について、危険度の高い地区にお住まいの希望者に指導して参ります。